

学校法人桐朋学園アリオン江戸音楽振興基金

第8回 柴田南雄 音楽評論賞

音楽評論を社会に広め、音楽文化の質の向上に貢献する音楽評論家を育成することを目標として、将来期待される個人に対し、その活動を顕彰し、または助成する賞金を授与するため、作品を公募します。

提出期限 **2021年5月31日(月) 16:30 必着**

〔賞金〕本賞 60万円 / 奨励賞 30万円

本賞は、1988～2012年度まで、アリオン音楽財団の主催で運営されていた〈アリオン賞〉音楽評論部門〈柴田南雄音楽評論賞〉を学校法人桐朋学園が引き継いで運営するものです。〈アリオン賞〉評論部門の選考委員であった音楽評論家・作曲家、故・柴田南雄氏の業績に敬意を表し設立された賞です。

【問い合わせ】 桐朋学園大学音楽学部 柴田南雄音楽評論賞係 TEL:03-3307-4101

＜過去の受賞者＞

- 第1回 該当者なし
- 第2回 該当者なし
- 第3回 【奨励賞】 仲辻 真帆、新田 愛
- 第4回 【本賞】 鐵 百合奈、堀内 彩虹
- 第5回 【本賞】 鐵 百合奈 【奨励賞】 西村 紗知
- 第6回 該当者なし
- 第7回 【本賞】 相馬 巧 【奨励賞】 布施 砂丘彦

＜学校法人桐朋学園アリオン江戸音楽振興基金＞
第8回＜柴田南雄音楽評論賞＞公募

＜趣 旨＞

音楽評論を社会に発表し、音楽文化の質の向上に貢献することのできる音楽評論家を育てることを目標として、将来期待される有能な個人に対し、その活動を顕彰し、または助成する賞金を授与するため、下記の要項に従って、作品を公募します。

選考委員長：三浦 雅士（評論家）

選考委員：梅津 時比古（音楽評論） 長木 誠司（音楽学者） 平野 昭（音楽学者）

松本 良一（読売新聞文化部記者） 吉田 純子（朝日新聞編集委員） [50音順]

応募要項：

1. 下記(1)(2)の**応募作3編**を提出すること。日本語に限る。

(1) 演奏会批評・・・**個評2編**

- 2020年12月1日以降 2021年5月30日までに国内で開催された演奏会に対して批評する
- 字数制限・・・1編につき1,000字まで

(2) 音楽、音楽界の現状、未来への深い視野を持った未発表の**音楽時評もしくは音楽評論1編**
(学術論文ではありません)

- テーマは自由
- 枚数制限・・・400字×15～25枚(6,000字～10,000字)

2. 応募作とともに下記の事項を記入した書類を提出する。

氏名・住所・電話番号・性別・生年月日・略歴・応募のきっかけ(何で知ったか)

3. 応募資格・・・国籍、年齢を問わない。

4. 提出期限・・・2021年5月31日(月) 16:30 必着

*原則、郵送あるいは、電子メールによる送付。

電子メールの場合、件名に「柴田南雄音楽評論賞」と明記し、PDFファイルで送付のこと。

(本学から受領の確認メールを送信いたしますので、その受信をもって受付完了とします)

*応募いただいた作品は返却いたしません。

審査方法： 書類選考 (必要に応じて面接あり)

発 表： 2021年9月 (予定)

表 彰： 優秀者1名に対し、＜柴田南雄音楽評論賞＞を授与する
＜柴田南雄音楽評論賞＞・・・賞状と賞金(60万円)
奨励賞の場合は賞状と賞金(30万円)

【問い合わせ・送付先】

桐朋学園大学音楽学部 柴田南雄音楽評論賞 係

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-4-1 TEL: 03-3307-4101

Mail: n-shibata-mca@tohomusic.ac.jp ホームページ: <https://www.tohomusic.ac.jp/>

＜著作権の取扱＞

応募作品の著作権は応募者に帰属します。

ただし、応募作品のうち「本賞」並びに「奨励賞」を受賞した作品(以下、優秀作品)は、

- <1> 学校法人桐朋学園がその発表のために必要な利用をすること。
- <2> 学校法人桐朋学園が本事業を広報するための印刷物やホームページ等に利用すること。
- <3> 学校法人桐朋学園が本事業の記録として保存するために複製すること。

上記の条件について当該優秀作品の応募者には著作権を放棄することを了承していただきます。

なお、本条件以外の利用が発生する場合は双方で協議します。

＜個人情報の取扱＞

個人情報保護法に基づき応募に関する情報は主催者が管理し、本事業の運営以外の目的で使用することはありません。